

# 第1回埼玉県屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設 整備地選定委員会【概要】

日時：令和2年12月3日（木）10：00～11：30

会場：埼玉県庁 本庁舎2階 庁議室

出席者：江利川委員、笠原委員、久保委員、小島委員、利根委員、橋本委員、  
須田オブザーバー

## 1 開会

## 2 知事挨拶（挨拶後退席）

## 3 委員長の互選等

### （1）委員長の選出

- ・各委員の同意を得て、笠原委員を委員長に選出

### （2）議事の公開について

- ・各委員が忌憚なく意見を述べるため、選定委員会設置要綱第4条第2項ただし書きの規定により、委員の意見交換については非公開とすることを決定

## 4 議事

### （1）これまでの検討状況について、（2）今後の検討の進め方について

- ・事務局から「資料1」及び「資料2」に基づき一括して説明

（以下、委員の主な発言内容）

#### ○ 国立スポーツ科学センター（JISS）について

- ・JISSの開設はスポーツ先進国の中では非常に遅れている。しかし、だからこそ最新の器具・設備が導入され、オリンピックにおける日本選手団のメダル獲得数増加などの成果につながったとも考えられる。

#### ○ 10万人署名について

- ・公営の屋内50mプールがないのは、東日本で埼玉県だけである。

- ・埼玉県も平成16年の彩の国まごころ国体の際、今候補地となっている神根に川口市が建設する予定であったが、実現しなかった。
- ・国体終了後、埼玉県水泳連盟内に「屋内50mプール建設推進委員会」を設置した。
- ・市町村水泳連盟・スイミングクラブ・学校等の協力を得て、県営屋内50mプールの建設要望の署名活動を行った。その結果、101,850人の署名が集まり平成20年4月に知事へ提出した。

#### ○ 本県の水泳大会の開催状況について

- ・埼玉県水泳連盟の主催大会と公認大会は、競泳・飛込・水球・アーティスティックスイミング合わせて、年間54大会71日開催している。
- ・水泳が盛んで選手の多い埼玉県では、全国大会の県予選などには、選手・観客・競技役員合わせて約3,000人が会場に集まる。
- ・水泳の大会では朝7時に会場を開門し選手はウォーミングアップを行う。その後、9時頃から競技が始まり各種目の予選・決勝レースを行い夕方までずっと会場内で過ごすことになる。これを大会期間中続ける。
- ・屋内50mプールであれば、雨の日でも、40℃近い猛暑の日でも、冬であっても安定して大会を開催でき、選手も力を発揮できるが、屋外プールの場合、コンディションを保つのも大変な状況である。
- ・競泳の場合、全国大会や関東大会に出場するには全国・関東共通の標準記録がある。選手はこの記録を突破することで上位大会に出場できる。
- ・この標準記録は、屋内プールでも屋外プールでも共通である。埼玉県の選手としても屋内プールなら突破できたのにと悔しい思いをしている選手もいる。

#### ○ その他

- ・せつかく整備するのであれば、日本に冠たる競技施設とするべき。
- ・競技力向上と県民の健康増進の両立を図るべき。
- ・いつまでに整備するのかスケジュールを決めることが大事
- ・各候補地の課題については地元市によく確認し、どうすれば解決できるのかフィードバックしてもらうことが必要である。
- ・各候補地の地元市からのフィードバックを踏まえた上で現地視察したい。

## 5 閉会